

Fujitsu
UVance

Fujitsu Cloud Transformation Service ご紹介

富士通株式会社

FUJITSU



● 商標登録

- 記載されている会社名、製品名等の固有名詞は各社の商号、登録商標または商標です。
- その他、本資料に記載されている会社名、システム名、製品名等には必ずしも商標表示を付記していません。

● 免責事項

- このドキュメントは単に情報として提供され、内容は予告なしに変更される場合があります。
- また、発行元の許可なく、本書の記載内容を複製、転載することを禁止します。
- このドキュメントに誤りが無いことの保証や、商品性又は特定目的への適合性の黙示的な保証を含め明示的又は黙示的な保証や条件は一切無いものとします。
- 富士通株式会社は、このドキュメントについていかなる責任も負いません。また、このドキュメントによって直接又は間接にいかなる契約上の義務も負うものではありません。
- このドキュメントを形式、手段（電子的又は機械的）、目的に関係なく、富士通株式会社の書面による事前の承諾なく、複製又は転載することはできません。

Agenda

- 1 Fujitsu Uvanceにおける位置づけ

- 2 Fujitsu Cloud Transformation Service
サービスの特長

- 3 Fujitsu Cloud Transformation Service
サービス内容

- 4 **【参考】**Fujitsu Cloud Transformation Service
各メニュー詳細

Fujitsu Uvanceにおける位置づけ

これからの10年

デジタルイノベーションによって サステナビリティ・トランスフォーメーションを実現

- サステナビリティの課題を克服するために、デジタルテクノロジーは大きな可能性を持つ
- これからの10年の最重要テーマは、デジタルイノベーションによるサステナビリティ・トランスフォーメーション（環境・社会・経済により良いインパクトを与えるためにビジネスを変革すること）の推進
- 富士通は、不確実性に対するビジネスのレジリエンスを高め、環境・社会価値を創出するデジタルイノベーションに取り組み、よりサステナブルな未来に向けたビジネスの変革を支援

これからの10年

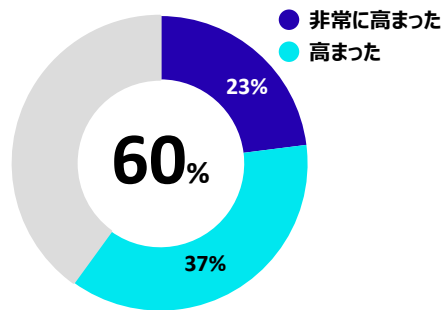
Sustainability
Transformation

Digital
Transformation

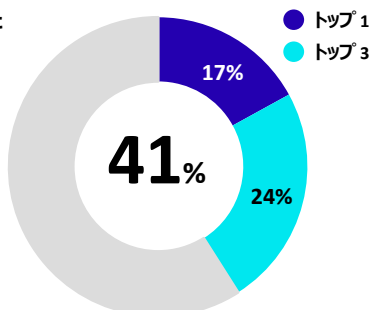
サステナビリティは経営の優先課題へ

- 富士通はForrester Consultingに委託し、世界9カ国 1,800人のビジネスリーダーを対象とした調査*を実施
 - 60%の企業がこの2年間の間に経営におけるサステナビリティの優先度が高まり
 - 41%はトップ3の優先課題の一つと回答
- 主な理由は、若い世代の間でのサステナビリティに対する意識の高まりや政府の規制など、企業の様々なステークホルダーからの強い要請

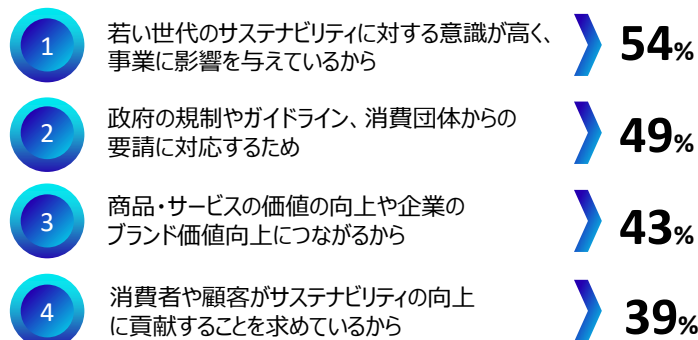
過去2年間で経営におけるサステナビリティの優先度が高まった



サステナビリティは経営のトップ3の優先課題



サステナビリティの優先度が高まった理由



*2022年2月 富士通がForrester Consultingに委託し、日本、シンガポール、中国、オーストラリア、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スペインのCxOと意思決定者に対してサステナビリティ・トランスフォーメーションについての調査を実施（オンラインと一部インタビュー）。

持続可能な 世界のために 前進します

人の生活を起点にこれからの産業の姿を描いたクロスインダストリーと、それを支えるテクノロジーの両軸で考え、富士通の持つ全てのケイパビリティを「Fujitsu Uvance」に込めました。

多様な価値を信頼でつなぎ、変化に適応するしなやかさをもたらすことで、誰もが夢に向かって前進できるサステナブルな世界をつくれます。



Sustainable
Manufacturing



Consumer
Experience



Healthy
Living



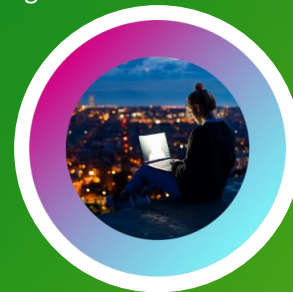
Trusted
Society



Digital Shifts



Business Applications



Hybrid IT

7KeyForcasAreaの中で、
Fujitsu Cloud Transformation Service(FCTS)
はHybrid ITに該当します

Fujitsu Cloud Transformation Service サービスの特長

Hybrid ITインフラ構築への期待

- 環境選択の自由度の確保** : クラウド・オンプレ環境や各種クラウドを自由に選択でき、柔軟に組み合わせ、活用できること
- 複雑化する構築の品質担保** : インフラを深く理解しなくても、蓄積されたノウハウを活用することで、複雑化するインフラ構築の品質を担保できること
- 短納期化と低コストの実現** : 徹底的な標準化と自動化により、インフラ構築のリードタイムを短縮し、低コスト化を実現できること

富士通のHybrid ITインフラ構築に対する取り組み

クラウド設計構築における実践経験
(3年で約3,500件)から標準化を徹底

最新技術、業界標準に準拠し
市場の変化に対応できる技術の提供

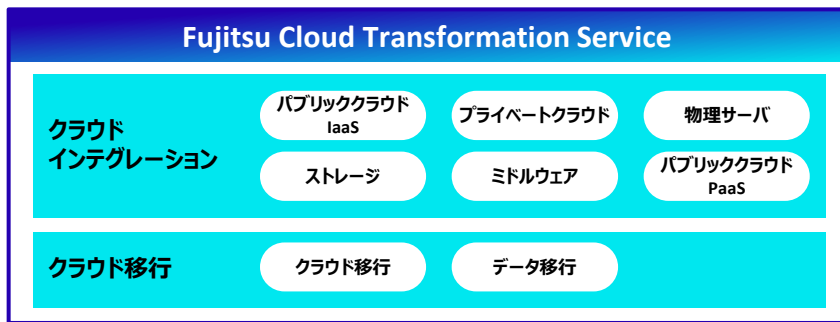
将来性・柔軟性の担保、IT人材問題の解決、リードタイムの短縮に向け、富士通は**Fujitsu Cloud Transformation Service**をご提供いたします

Fujitsu Cloud Transformation Serviceとは

- 国内向けの【クラウドインテグレーション/クラウド移行】メニューと海外向けの【クラウド移行】メニューの統合ブランドとして、Fujitsu Cloud Transformation Serviceを提供
- クラウド設計・構築/移行後の運用管理をFujitsu Cloud Managed Serviceに連携可能

Fujitsu Cloud Transformation Service

国内専用メニュー（クラウドインテグレーション/クラウド移行）



海外専用メニュー（クラウド移行）



※2024年4月時点では各メニューはそれぞれ国内、海外にのみ提供可能です。
2024年度下期以降、グローバルでのメニュー統合を予定しています。

管理

Fujitsu Cloud Managed Service

- Fujitsu Cloud Transformation Serviceは、多様化するインフラ構築作業をメニュー化し、お客様に選択いただけるようにしたデリバリーサービスです
- 富士通のノウハウと実践知から、設計指針、実現方式、パラメータ、構築テスト手順一式をドキュメント化・コード化し、ベストプラクティスとして型決めしています

3つの特長により、加速するDXを支える環境構築を実現

1

共通の設計指針により
クラウド選択の自由度を確保

2

ベストプラクティスと推奨値で
安定した品質を担保

3

標準化・自動化により
構築リードタイムを短縮

- 共通の設計指針を定義することで、各サービスの特性に影響されない柔軟なクラウド構築が可能
- FJcloud-O、FJcloud-V、Azure、AWS、Google Cloud、OCIの実装方式を提供

共通の設計指針を定義

基本項目

インフラ機能/信頼性/運用性/セキュリティ/ネットワーク等

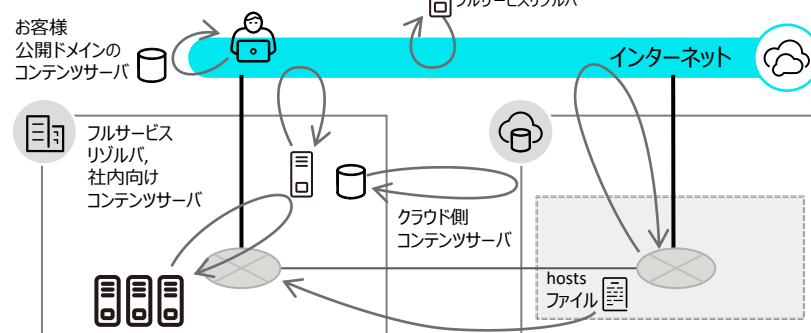
機能	設計指針
<input type="checkbox"/> 拠点接続 <input type="checkbox"/> リージョン、ゾーン <input type="checkbox"/> 仮想ネットワーク <input type="checkbox"/> 仮想ネットワーク間通信 <input type="checkbox"/> インターネット接続 <input type="checkbox"/> DNS <input type="checkbox"/> NTP <input type="checkbox"/> 負荷分散 : .	<ul style="list-style-type: none"> クラウドへの接続方式 VPN、専用線設計 ネットワーク分離方針 名前解決方針 時刻同期方式 負荷分散の方式

■ 名前解決について

- 一般的に名前解決はお客様環境に依存し様々なパターンがある。(全社一元管理、個別DNSサーバを用意、hostsで管理、等)
- 本サービスでは、クラウド内で完結して名前解決ができる構成を標準の型とする。
- クラウドから提供されているDNSサービスを利用し、提供が無い場合は、インターネット上で広く利用されている一般のDNSサーバを利用する。

設計指針に基づいた実装方式の提供

《FJcloud-Oの名前解決》



	FJcloud-O	FJcloud-V	Azure	AWS
利用するDNSサーバ (フルサービスリゾルバ)	インターネット上で利用できるDNSサーバ (google社提供の8.8.8.8)各サーバから参照	インターネット上で利用できるDNSサーバ (google社提供の8.8.8.8)仮想ルータから参照 各サーバはDNSサーバ指定なし	クラウド提供のDNSサービス(168.63.129.16)を利用	クラウド提供のDNSサービスを利用 (各サブネットの先頭から2番目のアドレス)

ベストプラクティスと推奨値で安定した品質を担保

- 富士通の実践知から導いたベストプラクティスと推奨値を、設計書・パラメータ設定・手順にプリセット
- お客様がITスキルに不安があり、構築要件を全て伝えられなくても、高品質なインフラ設計が可能

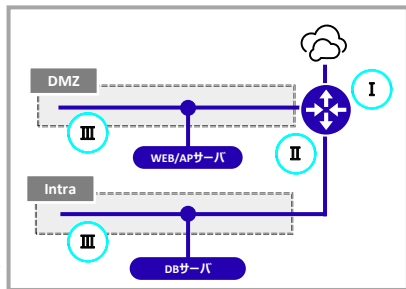
方式設計 例:仮想ネットワーク設計におけるセグメント構成

第1章 システム構成

1.2 仮想ネットワーク設計

サブネット

- ・作成した仮想ネットワーク上に、サブネットを設置する。
- ・用途により、サブネットを設計する。以下は、DMZサブネットとIntraサブネットに分けた場合の設計内容である。



サブネット構成イメージ図 (推奨構成)

DMZ/Intraのセグメント構成を展開

サブネット種別一覧

No.	サブネット種別	利用用途	説明
1	DMZ用	インターネット公開サーバ用	DMZ相当のセグメント。お客様拠点を經由せず、直接Fcloud-Oとインターネットとの通信を行う場合に使用する。
2	Intra用	内部サーバ用	インターネットへのアウトバウンドのみ、またはインターネットとの通信を行わないセグメント。
3	閉域網接続用	お客様拠点との接続用	お客様拠点（データセンター）とFcloud-O環境の通信をセグメント。
4	Site to Site VPN用	拠点間接続用	お客様サイト(オンプレミス)とFcloud-O環境のSite to site VPN接続を行うセグメント。
5	Point to Site VPN用	VPN利用した作業用	作業端末とFcloud-O環境のPoint to site VPN接続を行うセグメント。

パラメータ設定 例:ルータとポート設定の推奨値

ルータ設定情報

設定値		設定値		
No.	ルータリソース名	名前	割り当て先 外部ネットワーク名	割り当て先 外部ネットワーク リソース名
I	1	router01	fip-net	extnet01
	2			

ルータインターフェース設定情報

設定値		設定値	
No.	ルータインターフェース リソース名	ルータリソース名	割り当て先 ポートリソース名
II	1	routerf01	port01
	2	routerf02	port02
	3		

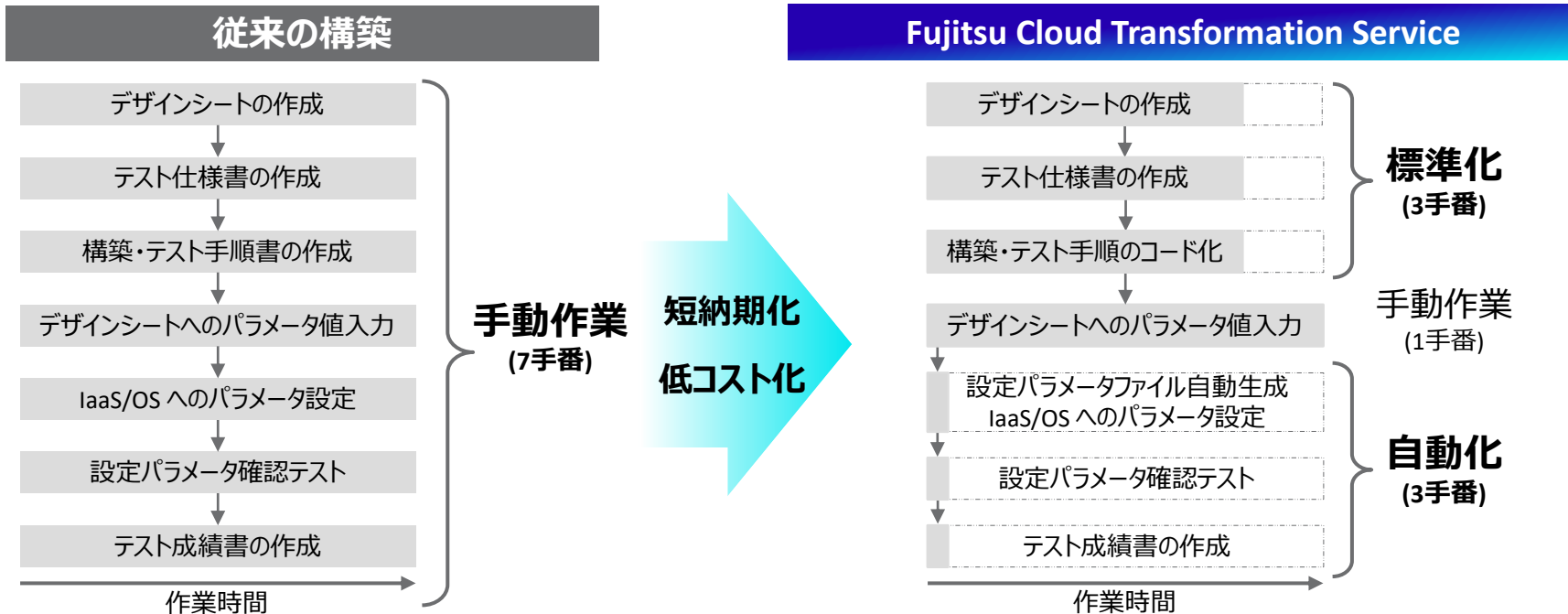
ポート設定情報

設定値		設定値	
No.	ポートリソース名	名前	割り当て先 サブネットリソース名
III	1	port-router01-intra01	subnet01
	2	port-router01-dmz01	subnet02
	3	port-webap-dmz01	subnet02
	4	port-db-intra01	subnet01
	5		

多様化・複雑化した設計においても、実践に基づいた安定したインフラをご提供します

標準化・自動化により構築リードタイムを短縮

- ドキュメントの標準化と手順の自動化により、手作業の手番削減と作業時間の短縮を実現



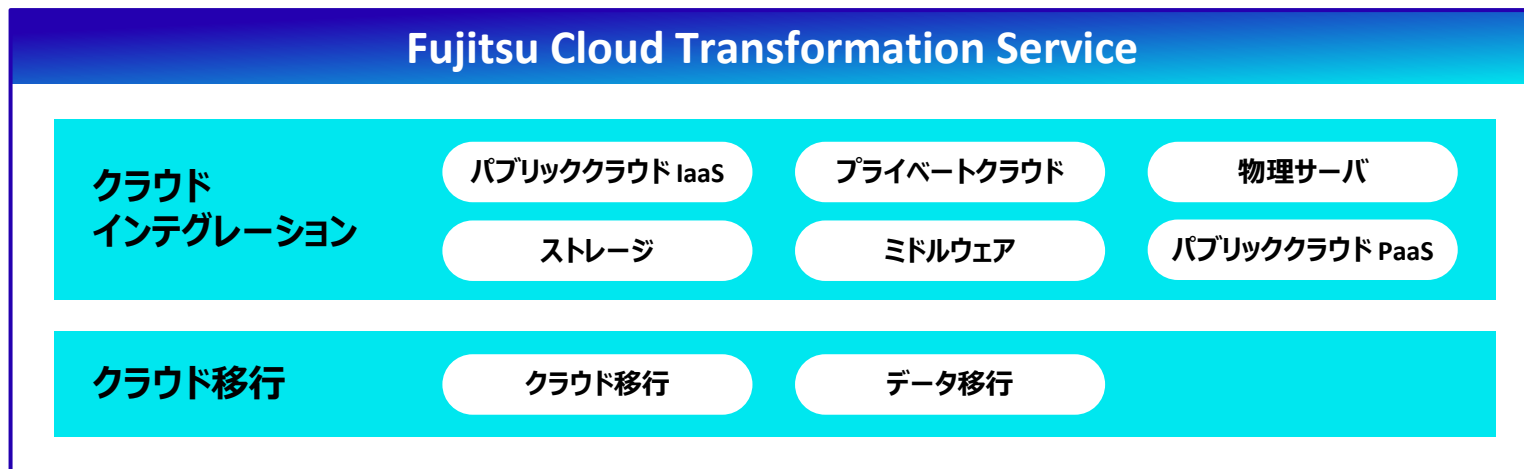
構築品質は担保したまま、短納期・低コストですぐに使える構築サービスをご提供します

Fujitsu Cloud Transformation Service

サービス内容（国内向け）

オンプレ・クラウドを問わず、インフラ構築作業を提供

- クラウドインテグレーションでは、パブリッククラウドだけでなく、物理環境などの構築作業もメニューとして提供しており、Hybrid ITインフラの構築を実現します
- クラウド移行では仮想環境からパブリッククラウドへの移行作業を提供しており、お客様要望や市場の変化に柔軟に対応できるインフラの構築に寄与します



※FY23/4Q時点では日本国内のみ提供可能です。
FY24下期以降、グローバルでのメニュー統合を予定しています。

お客様の構築要件に応じて3段階のメニューをご用意

- 作業工程の範囲や型決めのレベル別に3段階（Enterprise/Basic/Lite）のメニューを揃えています

	Enterprise	Basic	Lite
	<p>基幹系など、高信頼性が要求されるシステムを自由度の高いカスタマイズによって実現したい</p>	<p>細やかな設計は富士通に任せ社内・業務向けのシステムをスピード感を落とさずに実現したい</p>	<p>富士通既定のパラメータをフル活用し検証環境・大量展開サーバなどを手短かに実現したい</p>
方式設計	富士通ベストプラクティスに基づく方式説明（規模によるカスタマイズ可能）	富士通ベストプラクティスに基づく方式説明（ノンカスタマイズ）	—
環境設計	富士通標準のデザインシートによる設計 設定済み推奨値の柔軟なカスタマイズが可能	富士通標準のヒアリングシートを用いた設計 一部項目の変更可能（仮想サーバタイプやディスクなど）	富士通標準のヒアリングシートを用いた設計 最小限の項目のみ変更可能（OSやIPアドレスなど）
システム構築	環境設計に基づく構築・単体テスト	あらかじめ準備された手順書やテスト仕様書を用いた自動構築・単体テスト	あらかじめ準備された手順書やテスト仕様書を用いた自動構築・単体テスト
システム基盤テスト	方式に基づく、非機能項目の基盤テスト	方式に基づく、非機能項目（一部）の基盤テスト	—

- 目的に合わせて必要な作業項目の組合せパターンを選択することが可能です
- 「基本」に加えて「オプション」を追加選択することで、お客様の要件に柔軟に対応が可能です

凡例 (● : 基本(必須)、▲ : オプション)

作業項目	Enterprise	Basic	Lite
方式設計	●	●	
環境設計	●	●	●
環境設計 (オプション)	▲		
システム構築	●	●	●
システム構築 (オプション)	▲		
システム基盤テスト	●	●	

パブリッククラウドIaaSの構築作業内容 (1/2)

- 富士通の推奨する型に基づいたインフラの構築作業を実施します
- パブリッククラウドIaaSの構築作業内容については以下の通りです

凡例 (●: 基本(必須)、▲: オプション、○: 任意の項目を選択)

作業項目		メニュー		
		Enterprise	Basic	Lite
パブリッククラウドIaaS (1/2)	方式設計	● 富士通で定めた型に基づいたシステム方式の説明を行います。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ、ネットワーク、性能・拡張性	● 富士通で定めた型に基づいたシステム方式の説明を行います。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ	-
	環境設計	● 富士通で定めた型に基づき、環境設計を実施します。 (パラメータ変更可) 仮想ネットワーク設計、仮想サーバ環境設計、セキュリティグループ設計、仮想サーババックアップ設計、OS環境設計	● 富士通で定めた型に基づき、環境設計を実施します。 (一部パラメータ変更可) 仮想ネットワーク設計、仮想サーバ環境設計、セキュリティグループ設計、仮想サーババックアップ設計、OS環境設計	● 富士通で定めた型に基づき、環境設計を実施します。 (お客様環境固有パラメータのみ変更可) 仮想ネットワーク設計、仮想サーバ環境設計、OS環境設計
環境設計 (オプション)	ロードバランサー設計※2	▲ 富士通で定めた型に基づき、ロードバランサーの環境設計を実施します。	-	-
	VPNゲートウェイ設計※3	▲ 富士通で定めた型に基づき、クラウド側VPNゲートウェイの環境設計を実施します。	-	-
	サイト間(Site to Site)VPN接続設計※3	▲ 富士通で定めた型に基づき、サイト間VPN接続の環境設計と対向機器用のコネクティビリティ提供を実施します。	-	-
	クライアント(Point to Site)VPN接続設計※3	▲ 富士通で定めた型に基づき、クライアントVPN接続の環境設計を実施します。	-	-
	閉域網接続設計	▲ 富士通で定めた型に基づき、閉域網接続の環境設計を実施します。	-	-
	Network Firewall 基本設計※4	▲ 富士通で定めた型に基づき、Network Firewallの環境設計(基本)を実施します。	-	-
	Network Firewall ルール設計※4	▲ 富士通で定めた型に基づき、Network Firewallの環境設計(ルール)を実施します。	-	-
	Web Application Firewall 基本設計	▲ 富士通で定めた型に基づき、Web Application Firewallの環境設計(基本)を実施します。	-	-
	Web Application Firewall ルール設計※5	▲ 富士通で定めた型に基づき、Web Application Firewallの環境設計(ルール)を実施します。	-	-
	Private DNS 設計	▲ 富士通で定めた型に基づき、Private DNSの環境設計を実施します。	-	-
	DNS Private Resolver設計	▲ 富士通で定めた型に基づき、DNS Private Resolverの環境設計を実施します。	-	-
	DNS Private Resolver Endpoint 設計	▲ 富士通で定めた型に基づき、DNS Private Resolver Endpointの環境設計を実施します。	-	-
	Private Endpoint 設計	▲ 富士通で定めた型に基づき、Private Endpointの環境設計を実施します。	-	-
DDoS Protection 設計	▲ 富士通で定めた型に基づき、DDoS Protectionの環境設計を実施します。	-	-	
Public DNS Zone設計	▲ 富士通で定めた型に基づき、Public DNS Zoneの環境設計を実施します。	-	-	

※1: パブリッククラウドIaaS以外については、【参考】各メニュー詳細に記載しています

※2: 対象クラウドはFjcloud-O、Fjcloud-Vです

(Azure、AWSは「パブリッククラウドPaaSロードバランサー」メニューをご利用ください)

※3: 以下オプションの同時手配が必要です

①「VPNゲートウェイ設計」

②「サイト間(Site to Site)VPN接続設計」または「クライアント(Point to Site)VPN接続設計」、またはその両方

※4: 「Network Firewall 基本設計」と「Network Firewall ルール設計」オプションの同時手配が必要です

※5: 「Web Application Firewall ルール設計」は「Web Application Firewall 基本設計」の手配が必要です

パブリッククラウドIaaSの構築作業内容 (2/2)

凡例 (●: 基本(必須)、▲: オプション、○: 任意の項目を選択)

作業項目		メニュー		
		Enterprise	Basic	Lite
パブリッククラウドIaaS (2/2)	システム構築	● 富士通で定めた型に基づき、環境構築・単体テストを実施します。 仮想ネットワーク構築・設定、仮想サーバ払い出し、セキュリティグループ設定、仮想サーババックアップ設定、OS環境設定、OSアップデート	● 富士通で定めた型に基づき、環境構築・単体テストを実施します。 仮想ネットワーク構築・設定、仮想サーバ払い出し、セキュリティグループ設定、仮想サーババックアップ設定、OS環境設定、OSアップデート	● 富士通で定めた型に基づき、環境構築・単体テストを実施します。 仮想ネットワーク構築・設定、仮想サーバ払い出し、OS環境設定、OSアップデート
	システム構築 (オプション)	▲ ロードバランサー構築・設定※2	-	-
	外部公開サーバセキュリティ対応	▲ 外部公開サーバのセキュリティ対応を実施します。	-	-
	VPNゲートウェイ設定※3	▲ 富士通で定めた型に基づき、クラウド側VPNゲートウェイの環境構築・単体テストを実施します。	-	-
	サイト間(Site to Site)VPN接続設定※3	▲ 富士通で定めた型に基づき、サイト間VPN接続の環境構築・単体テストを実施します。	-	-
	クライアント(Point to Site)VPN接続設定※3	▲ 富士通で定めた型に基づき、クライアントVPN接続の環境構築・単体テストを実施します。	-	-
	閉域網接続設定	▲ 富士通で定めた型に基づき、閉域網接続の環境構築・単体テストを実施します。	-	-
	Network Firewall 基本設定※4	▲ 富士通で定めた型に基づき、Network Firewallの環境構築(基本)・単体テスト(基本)を実施します。	-	-
	Network Firewall ルール設定※4	▲ 富士通で定めた型に基づき、Network Firewallの環境構築(ルール)・単体テスト(ルール)を実施します。	-	-
	Web Application Firewall 基本設定	▲ 富士通で定めた型に基づき、Web Application Firewallの環境構築(基本)・単体テスト(基本)を実施します。	-	-
	Web Application Firewall ルール設定※5	▲ 富士通で定めた型に基づき、Web Application Firewallの環境構築(ルール)・単体テスト(ルール)を実施します。	-	-
	Private DNS 設定	▲ 富士通で定めた型に基づき、Private DNSの環境構築・単体テストを実施します。	-	-
	DNS Private Resolver 設定	▲ 富士通で定めた型に基づき、DNS Private Resolverの環境構築・単体テストを実施します。	-	-
	DNS Private Resolver Endpoint 設定	▲ 富士通で定めた型に基づき、DNS Private Resolver Endpointの環境構築・単体テストを実施します。	-	-
	Private Endpoint 設定	▲ 富士通で定めた型に基づき、Private Endpointの環境構築・単体テストを実施します。	-	-
	DDoS Protection 設定	▲ 富士通で定めた型に基づき、DDoS Protectionの環境構築・単体テストを実施します。	-	-
	Public DNS Zone 設定	▲ 富士通で定めた型に基づき、Public DNS Zoneの環境構築・単体テストを実施します。	-	-
	システム基盤テスト	● 富士通で定めた型に基づき、非機能に対する検証作業を実施します。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ、ネットワーク、性能・拡張性	● 富士通で定めた型に基づき、非機能に対する検証作業を実施します。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ	-

※1: パブリッククラウドIaaS以外については、【参考】各メニュー詳細に記載しています
 ※2: 対象クラウドはFJcloud-O、FJcloud-Vです
 (Azure、AWSは「パブリッククラウドPaaSロードバランサー」メニューをご利用ください)

※3: 以下オプションの同時手配が必要で
 ①「VPNゲートウェイ設定」
 ②「サイト間(Site to Site)VPN接続設定」または「クライアント(Point to Site)VPN接続設定」、またはその両方
 ※4: 「Network Firewall基本設定」と「Network Firewallルール設定」オプションの同時手配が必要で
 ※5: 「Web Application Firewallルール設定」は「Web Application Firewall 基本設定」の手配が必要で

まとめ

高度化、複雑化するハイブリッド環境において、
富士通は**長年蓄積してきた実績・技術力**を結集し、
お客様のDXを実現するHybrid ITインフラを
目指して最適な**インテグレーションサービス**を
提供してまいります。



【参考】

Fujitsu Cloud Transformation Service 国内向け各メニュー詳細

【構築作業提供範囲・内容】

- パブリッククラウドIaaS
- 物理サーバ
- ストレージ
- プライベートクラウド
- ミドルウェア
- パブリッククラウドPaaS

【移行作業提供範囲・内容】

- クラウド移行
- データ移行（ファイル移行）
- データ移行（DB移行）

● パブリッククラウドIaaS構築における各メニューでの構築作業提供範囲・内容は以下の通りです

凡例 (●：基本(必須)、▲：オプション、○：任意の項目を選択)

作業項目		メニュー		
		Enterprise	Basic	Lite
パブリッククラウドIaaS (1/2)	方式設計	● 富士通で定めた型に基づいたシステム方式の説明を行います。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ、ネットワーク、性能・拡張性	● 富士通で定めた型に基づいたシステム方式の説明を行います。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ	-
	環境設計	● 富士通で定めた型に基づき、環境設計を実施します。 (パラメータ変更可) 仮想ネットワーク設計、仮想サーバ環境設計、セキュリティグループ設計、仮想サーババックアップ設計、OS環境設計	● 富士通で定めた型に基づき、環境設計を実施します。 (一部パラメータ変更可) 仮想ネットワーク設計、仮想サーバ環境設計、セキュリティグループ設計、仮想サーババックアップ設計、OS環境設計	● 富士通で定めた型に基づき、環境設計を実施します。 (お客様環境固有パラメータのみ変更可) 仮想ネットワーク設計、仮想サーバ環境設計、OS環境設計
環境設計 (オプション)	ロードバランサー設計※1	▲ 富士通で定めた型に基づき、ロードバランサーの環境設計を実施します。	-	-
	VPNゲートウェイ設計※2	▲ 富士通で定めた型に基づき、クラウド側VPNゲートウェイの環境設計を実施します。	-	-
	サイト間(Site to Site)VPN接続設計※2	▲ 富士通で定めた型に基づき、サイト間VPN接続の環境設計と対向機器用のコンフィギュレーション提供を実施します。	-	-
	クライアント(Point to Site)VPN接続設計※2	▲ 富士通で定めた型に基づき、クライアントVPN接続の環境設計を実施します。	-	-
	閉域網接続設計	▲ 富士通で定めた型に基づき、閉域網接続の環境設計を実施します。	-	-
	Network Firewall基本設計※3	▲ 富士通で定めた型に基づき、Network Firewallの環境設計(基本)を実施します。	-	-
	Network Firewallルール設計※3	▲ 富士通で定めた型に基づき、Network Firewallの環境設計(ルール)を実施します。	-	-
	Web Application Firewall基本設計	▲ 富士通で定めた型に基づき、Web Application Firewallの環境設計(基本)を実施します。	-	-
	Web Application Firewallルール設計※4	▲ 富士通で定めた型に基づき、Web Application Firewallの環境設計(ルール)を実施します。	-	-
	Private DNS 設計	▲ 富士通で定めた型に基づき、Private DNSの環境設計を実施します。	-	-
	DNS Private Resolver設計	▲ 富士通で定めた型に基づき、DNS Private Resolverの環境設計を実施します。	-	-
	DNS Private Resolver Endpoint設計	▲ 富士通で定めた型に基づき、DNS Private Resolver Endpointの環境設計を実施します。	-	-
	Private Endpoint 設計	▲ 富士通で定めた型に基づき、Private Endpointの環境設計を実施します。	-	-
DDoS Protection 設計	▲ 富士通で定めた型に基づき、DDoS Protectionの環境設計を実施します。	-	-	
Public DNS Zone設計	▲ 富士通で定めた型に基づき、Public DNS Zoneの環境設計を実施します。	-	-	

※1：対象クラウドはFJcloud-O、FJcloud-Vです (Azure、AWSは「パブリッククラウドPaaS ロードバランサー」メニューをご利用ください)

※2：以下オプションの同時手配が必要です

①「VPNゲートウェイ設計」

②「サイト間(Site to Site)VPN接続設計」または「クライアント(Point to Site)VPN接続設計」、または その両方

※3：「Network Firewall基本設計」と「Network Firewallルール設計」オプションの同時手配が必要です

※4：「Web Application Firewall ルール設計」は「Web Application Firewall 基本設計」の手配が必要です

パブリッククラウドIaaS (2/2)

凡例 (●：基本(必須)、▲：オプション、○：任意の項目を選択)

作業項目		メニュー		
		Enterprise	Basic	Lite
パブリッククラウドIaaS (2/2)	システム構築	● 富士通で定めた型に基づき、環境構築・単体テストを実施します。 ● 仮想ネットワーク構築・設定、仮想サーバ払い出し、セキュリティグループ設定、仮想サーババックアップ設定、OS環境設定、OSアップデート	● 富士通で定めた型に基づき、環境構築・単体テストを実施します。 ● 仮想ネットワーク構築・設定、仮想サーバ払い出し、セキュリティグループ設定、仮想サーババックアップ設定、OS環境設定、OSアップデート	● 富士通で定めた型に基づき、環境構築・単体テストを実施します。 ● 仮想ネットワーク構築・設定、仮想サーバ払い出し、OS環境設定、OSアップデート
	ロードバランサー構築・設定※1	▲ 富士通で定めた型に基づき、ロードバランサーの環境構築・単体テストを実施します。	-	-
	外部公開サーバセキュリティ対応	▲ 外部公開サーバのセキュリティ対応を実施します。	-	-
	VPNゲートウェイ設定※2	▲ 富士通で定めた型に基づき、クラウド側VPNゲートウェイの環境構築・単体テストを実施します。	-	-
	サイト間(Site to Site)VPN接続設定※2	▲ 富士通で定めた型に基づき、サイト間VPN接続の環境構築・単体テストを実施します。	-	-
	クライアント(Point to Site)VPN接続設定※2	▲ 富士通で定めた型に基づき、クライアントVPN接続の環境構築・単体テストを実施します。	-	-
	閉域網接続設定	▲ 富士通で定めた型に基づき、閉域網接続の環境構築・単体テストを実施します。	-	-
	Network Firewall基本設定※3	▲ 富士通で定めた型に基づき、Network Firewallの環境構築(基本)・単体テスト(基本)を実施します。	-	-
	Network Firewallルール設定※3	▲ 富士通で定めた型に基づき、Network Firewallの環境構築(ルール)・単体テスト(ルール)を実施します。	-	-
	Web Application Firewall基本設定	▲ 富士通で定めた型に基づき、Web Application Firewallの環境構築(基本)・単体テスト(基本)を実施します。	-	-
	Web Application Firewallルール設定※4	▲ 富士通で定めた型に基づき、Web Application Firewallの環境構築(ルール)・単体テスト(ルール)を実施します。	-	-
	Private DNS 設定	▲ 富士通で定めた型に基づき、Private DNSの環境構築・単体テストを実施します。	-	-
	DNS Private Resolver 設定	▲ 富士通で定めた型に基づき、DNS Private Resolverの環境構築・単体テストを実施します。	-	-
	DNS Private Resolver Endpoint 設定	▲ 富士通で定めた型に基づき、DNS Private Resolver Endpointの環境構築・単体テストを実施します。	-	-
Private Endpoint 設定	▲ 富士通で定めた型に基づき、Private Endpointの環境構築・単体テストを実施します。	-	-	
DDoS Protection 設定	▲ 富士通で定めた型に基づき、DDoS Protectionの環境構築・単体テストを実施します。	-	-	
Public DNS Zone 設定	▲ 富士通で定めた型に基づき、Public DNS Zoneの環境構築・単体テストを実施します。	-	-	
システム基盤テスト	● 富士通で定めた型に基づき、非機能に対する検証作業を実施します。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ、ネットワーク、性能・拡張性	● 富士通で定めた型に基づき、非機能に対する検証作業を実施します。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ	-	

※1：対象クラウドはFJcloud-O、FJcloud-Vです (Azure、AWSは「パブリッククラウドPaaS ロードバランサー」メニューをご利用ください)

※2：以下オプションの同時手配が必要です

①「VPNゲートウェイ設定」

②「サイト間(Site to Site)VPN接続設定」または「クライアント(Point to Site)VPN接続設定」、または その両方

※3：「Network Firewall基本設定」と「Network Firewallルール設定」オプションの同時手配が必要です

※4：「Web Application Firewall ルール設定」は「Web Application Firewall 基本設定」の手配が必要です

● 物理サーバ構築における各メニューでの構築作業提供範囲・内容は以下の通りです

凡例 (● : 基本(必須)、▲ : オプション、○ : 任意の項目を選択)

作業項目		メニュー			
		Enterprise	Basic	Lite	
物理 サ ー バ	方式設計	<ul style="list-style-type: none"> ● 富士通で定めた型に基づいたシステム方式の説明を行います。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ、性能・拡張性 	<ul style="list-style-type: none"> ● 富士通で定めた型に基づいたシステム方式の説明を行います。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ 	—	
	環境設計	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の項目の環境設計を実施します。 (パラメータ変更可) BIOS設計、OS基本設計、OS追加設計 	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の項目の環境設計を実施します。 (一部パラメータのみ変更可) BIOS設計、OS基本設計 	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の項目の環境設計を実施します。 (お客様環境固有パラメータのみ変更可) BIOS設計、OS基本設計 	
	システム構築	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境設計に基づき、以下の環境構築・単体テストを実施します。 BIOS設定、OS基本設定、OS追加設定、OSアップデート 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境設計に基づき、以下の環境構築・単体テストを実施します。 BIOS設定、OS基本設定、OSアップデート 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境設計に基づき、以下の環境構築・単体テストを実施します。 BIOS設定、OS基本設定、OSアップデート 	
	システム構築 (オプション)	外部公開サーバ セキュリティ対応	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 外部公開サーバのセキュリティ対応を実施します。 	—	—
	システム基盤テスト	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の非機能に対する検証作業を実施します。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ、性能・拡張性 	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の非機能に対する検証作業を実施します。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ 	—	

● ストレージ構築における各メニューでの構築作業提供範囲・内容は以下の通りです

凡例 (●：基本(必須)、▲：オプション、○：任意の項目を選択)

作業項目		メニュー			
		Enterprise	Basic	Lite	
ストレージ	方式設計	● 富士通で定めた型に基づいたシステム方式の説明を行います。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ、性能・拡張性	● 富士通で定めた型に基づいたシステム方式の説明を行います。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ	—	
	環境設計 ※	LANスイッチ/NAS	● 以下の項目の環境設計を実施します。 LANスイッチ基本設計、NAS基本設計、ストレージ設計	● 以下の項目の環境設計を実施します。 LANスイッチ基本設計、NAS基本設計、ストレージ設計	● 以下の項目の環境設計を実施します。 LANスイッチ基本設計、NAS基本設計、ストレージ設計
		FCスイッチ/SAN	● 以下の項目の環境設計を実施します。 FCスイッチ基本設計、SAN基本設計、ストレージ設計	● 以下の項目の環境設計を実施します。 FCスイッチ基本設計、SAN基本設計、ストレージ設計	● 以下の項目の環境設計を実施します。 FCスイッチ基本設計、SAN基本設計、ストレージ設計
	システム構築 ※	LANスイッチ/NAS	● 環境設計に基づき、以下の環境構築・単体テストを実施します。 LANスイッチ基本設定、NAS基本設定、ストレージ設定	● 環境設計に基づき、以下の環境構築・単体テストを実施します。 LANスイッチ基本設定、NAS基本設定、ストレージ設定	● 環境設計に基づき、以下の環境構築・単体テストを実施します。 LANスイッチ基本設定、NAS基本設定、ストレージ設定
		FCスイッチ/SAN	● 環境設計に基づき、以下の環境構築・単体テストを実施します。 FCスイッチ基本設定、SAN基本設定、ストレージ設定	● 環境設計に基づき、以下の環境構築・単体テストを実施します。 FCスイッチ基本設定、SAN基本設定、ストレージ設定	● 環境設計に基づき、以下の環境構築・単体テストを実施します。 FCスイッチ基本設定、SAN基本設定、ストレージ設定
	システム構築 (オプション)	容量変更	▲ ストレージ容量を20TBもしくは50TBに変更します。	▲ ストレージ容量を20TBもしくは50TBに変更します。	▲ ストレージ容量を20TBもしくは50TBに変更します。
		経路冗長化	▲ 環境設計に基づき、マルチパス設定を実施します。	▲ 環境設計に基づき、マルチパス設定を実施します。	—
システム基盤テスト	● 以下の非機能に対する検証作業を実施します。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ、性能・拡張性	● 以下の非機能に対する検証作業を実施します。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ	—		

※「LANスイッチ/NAS」が「FCスイッチ/SAN」のいずれか、または両方を選択

- 「プライベートクラウド」は、Enterpriseのみの提供となります
- プライベートクラウド構築における構築作業提供内容は以下の通りです

凡例 (● : 基本(必須)、▲ : オプション、○ : 任意の項目を選択)

作業項目		メニュー	
		Enterprise	
プライベートクラウド	方式設計	● 富士通で定めた型に基づいたシステム方式の説明を行います。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ、性能・拡張性	
	環境設計	● 以下の項目の環境設計を実施します。 BIOS設計、iRMC設計、ESXi設計	
	環境設計 (オプション)	vCenter	▲ 以下の項目の環境設計を実施します。 vCenter設計
	システム構築	● 以下の項目の環境構築・単体テストを実施します。 BIOS設定、iRMC設定、ESXiインストール/設定、ESXiアップデート	
	システム構築 (オプション)	vCenter	▲ 以下の項目の環境構築・単体テストを実施します。 vCenter設定
	システム基盤テスト	● 以下の非機能に対する検証作業を実施します。 システム構成・環境、信頼性、運用・保守、セキュリティ	

- 「ミドルウェア」は、Liteのみの提供となります
- ミドルウェア構築における構築作業提供内容は以下の通りです

凡例 (●：基本(必須)、▲：オプション、○：任意の項目を選択)

作業項目		メニュー	
		Lite	
		富士通で定めた型に基づいたミドルウェアについて以下の設計・構築を実施します。	
ミ ド ル ウ ェ ア	設計・構築	Apache	対象サーバ情報のヒアリング、インストール、初期設定、バックアップ設定、単体テスト
		Tomcat	対象サーバ情報のヒアリング、インストール、初期設定、バックアップ設定、単体テスト
		Internet Information Services	対象サーバ情報のヒアリング、インストール、初期設定、バックアップ設定、単体テスト
		Datadog(FCMS用)	対象サーバ情報のヒアリング、インストール、単体テスト
		Interstage Application Server	対象サーバ情報のヒアリング、インストール、パッチ適用、単体テスト
		Systemwalker Operation Manager	対象サーバ情報のヒアリング、インストール、パッチ適用、単体テスト
		Systemwalker Centric Manager	○ 対象サーバ情報のヒアリング、インストール、パッチ適用、単体テスト
		Zabbix	対象サーバ情報のヒアリング、インストール、DB設定、ホスト設定、バックアップ設定、単体テスト
		NetBackup	対象サーバ情報のヒアリング、インストール、パッチ適用、ストレージユニット/メディアプール/カタログバックアップポリシーの作成、単体テスト
		Vision One - Endpoint Security	対象サーバ情報のヒアリング、インストール、最新パターンファイル適用、除外設定、通知設定、単体テスト
		Oracle	対象サーバ情報のヒアリング、インストール、パッチ適用、インスタンス作成、単体テスト
		SQL Server	対象サーバ情報のヒアリング、インストール、更新プログラム適用、インスタンス作成、単体テスト
	PostgreSQL	対象サーバ情報のヒアリング、インストール、インスタンス作成、単体テスト	

- 「パブリッククラウドPaaS」は、Enterpriseのみの提供となります
- パブリッククラウドPaaS構築における構築作業提供内容は以下の通りです
- 構築対象のクラウドはAWSとAzureとなります(2022年12月現在)

凡例 (●: 基本(必須)、▲: オプション、○: 任意の項目を選択)

作業項目		メニュー		
		Enterprise		
パブリッククラウドPaaS	方式設計	● 後日、提供開始予定		
	環境設計 システム構築	富士通で定めた型に基づいた環境設計、構築を実施します。		
		オートスケール	対象PaaS	AWS : Amazon EC2 Auto Scaling Azure : Azure Virtual Machine Scale Sets
		コンテナ	対象PaaS	AWS : Amazon ECS on Fargate Azure : Azure Kubernetes Service
		RDB	対象PaaS	AWS : Amazon RDS Azure : Azure Database for PostgreSQL
		ロードバランサー	対象PaaS	AWS : Application Load Balancer Azure : Application Gateway
		ゲートウェイ	○ 対象PaaS	AWS : Internet Gateway Azure : (対象外)
		オブジェクトストレージ	対象PaaS	AWS : Amazon S3 Azure : Azure Blob Storage
		ファイル共有	対象PaaS	AWS : Amazon EFS Azure : Azure Files
		バックアップ	対象PaaS	AWS : AWS Backup Azure : Azure Backup
証跡	対象PaaS	AWS : AWS CloudTrail Azure : Azure Monitor		
システム基盤テスト		● 後日、提供開始予定		

クラウド移行

- クラウド移行は、Basicのみの提供となります
- クラウド移行作業における移行作業提供内容は以下の通りです

凡例 (●: 基本(必須)、▲: オプション、○: 任意の項目を選択)

作業項目		メニュー	
		Basic	
クラウド移行	クラウド移行 (Azure/AWS)	○	富士通で定めた型に基づいた移行ツールによるクラウドへのサーバ移行作業を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・設計 <ul style="list-style-type: none"> - 型決めされた移行方式の説明、対象ヒアリング - 移行ツールパラメータ設計 ・構築・テスト <ul style="list-style-type: none"> - 移行ツール設定 - 移行作業 - インフラ動作確認 ・サーバ移行対応 <ul style="list-style-type: none"> - 移行ツールでのサーバ移行完了対応 - 移行後の移行ツール設定削除
	クラウド移行 (FJcloud-O/FJcloud-V)	○	富士通で定めた方に基づいた移行機能によるクラウドへのサーバ移行作業を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・設計 <ul style="list-style-type: none"> - 型決めされた移行方式の説明、対象ヒアリング ・移行・テスト <ul style="list-style-type: none"> - 移行作業 - インフラ動作確認

データ移行（ファイル移行）

- データ移行（ファイル移行）は、Liteのみの提供となります
- データ移行（ファイル移行）における移行作業提供範囲・内容は以下の通りです

凡例（●：基本(必須)、▲：オプション、○：任意の項目を選択）

作業項目		メニュー	
		Lite	
データ移行	ファイル移行	●	富士通で定めた型に基づいたファイル移行に必要なドキュメント群の提供を実施します。

データ移行（DB移行）

- データ移行（DB移行）は、Basicのみの提供となります
- データ移行（DB移行）における移行作業提供範囲・内容は以下の通りです

凡例（●：基本(必須)、▲：オプション、○：任意の項目を選択）

作業項目		メニュー	
		Basic	
データ移行	DB移行		● 富士通で定めた型に基づいたデータベース移行を実施します。
	DB移行 (オプション)	大容量オプション	▲ データ容量が1TBを越えるデータベースの移行を実施します。

【参考】

Fujitsu Cloud Transformation Service 海外向けメニュー詳細

【移行作業提供範囲・内容】

- ・クラウド移行

- クラウド移行に関する「コンサルティング」「アセスメント」「移行実施」の3つの海外向けメニューを提供

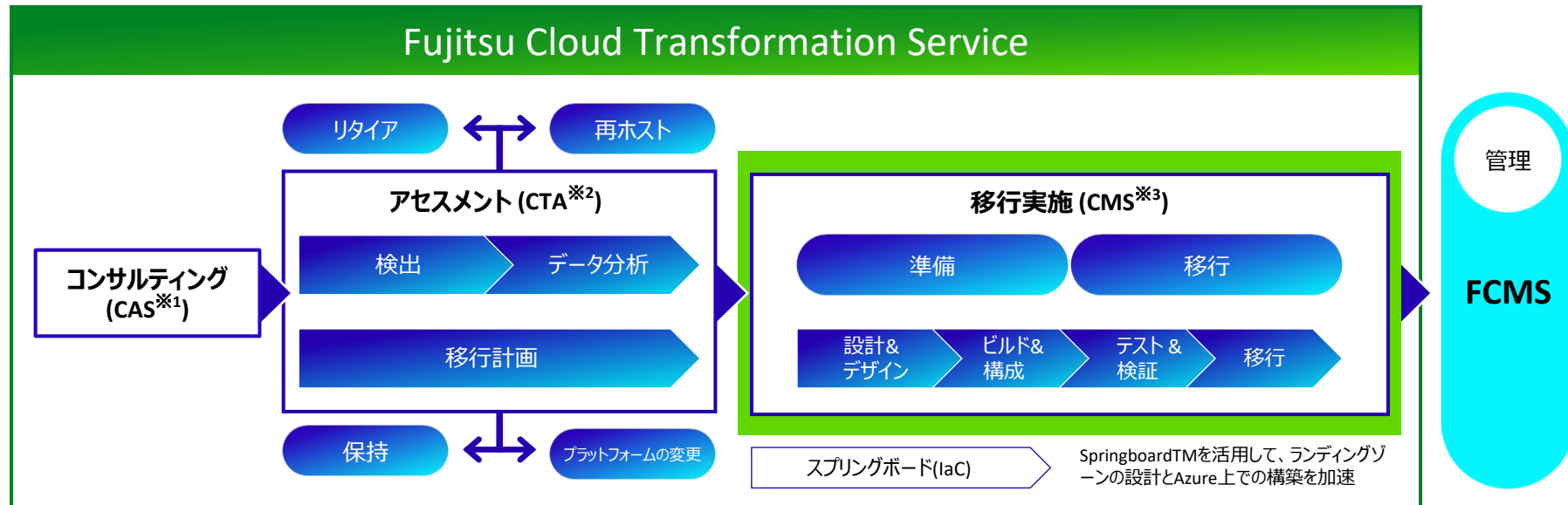
海外専用メニュー（クラウド移行）



Fujitsu Cloud Transformation Service

海外版の概要

- クラウド移行に関する「コンサルティング」「アセスメント」「移行実施」の3つのメニューで構成



※1 Cloud Advisory Service (CAS) : AWSのMRA(Migration Readiness Assessment)をベースにヒアリングを行い、結果をレポートとして提出
※2 Cloud Transformation Assessment(CTA) : 対象マシン別に移行方針(リホスト、リプラットフォーム、オンプレに維持などを評価し、移行計画を作成
※3 Cloud Migration Service(CMS) : IaCを活用したランディングゾーンの準備(設計&構築)、および移行

- クラウド移行に関する「コンサルティング」「アセスメント」「移行実施」の3つのメニューで構成

メニュー		サービス内容
ク ラ ウ ド 移 行	コンサルティング Cloud Advisory Service (CAS)	AWSのMRA(Migration Readiness Assessment)をベースにヒアリングを行い、結果をレポートとして提出
	アセスメント Cloud Transformation Assessment(CTA)	対象マシン別に移行方針(リホスト、リプラットフォーム、オンプレに維持など)を評価し、移行計画を作成
	移行実施 Cloud Migration Service(CMS)	IaCを活用したランディングゾーンの準備(設計&構築)、および移行

【参考】

関連サービスご紹介

Fujitsu Cloud Managed Service

Hybrid IT

Fujitsu Cloud Transformation Service

Hybrid ITインフラ構築サービス

国内外で富士通が培ってきたシステムインテグレーションにおける実践知やベストプラクティスに基づき、作業プロセスを徹底的に標準化・自動化することで、クラウド構築のリードタイムを短縮します。

お客様は、ビジネスの状況変化やシステム要件に合わせて短期間で自由度の高いクラウドインフラ環境の構築が可能です。

Hybrid IT

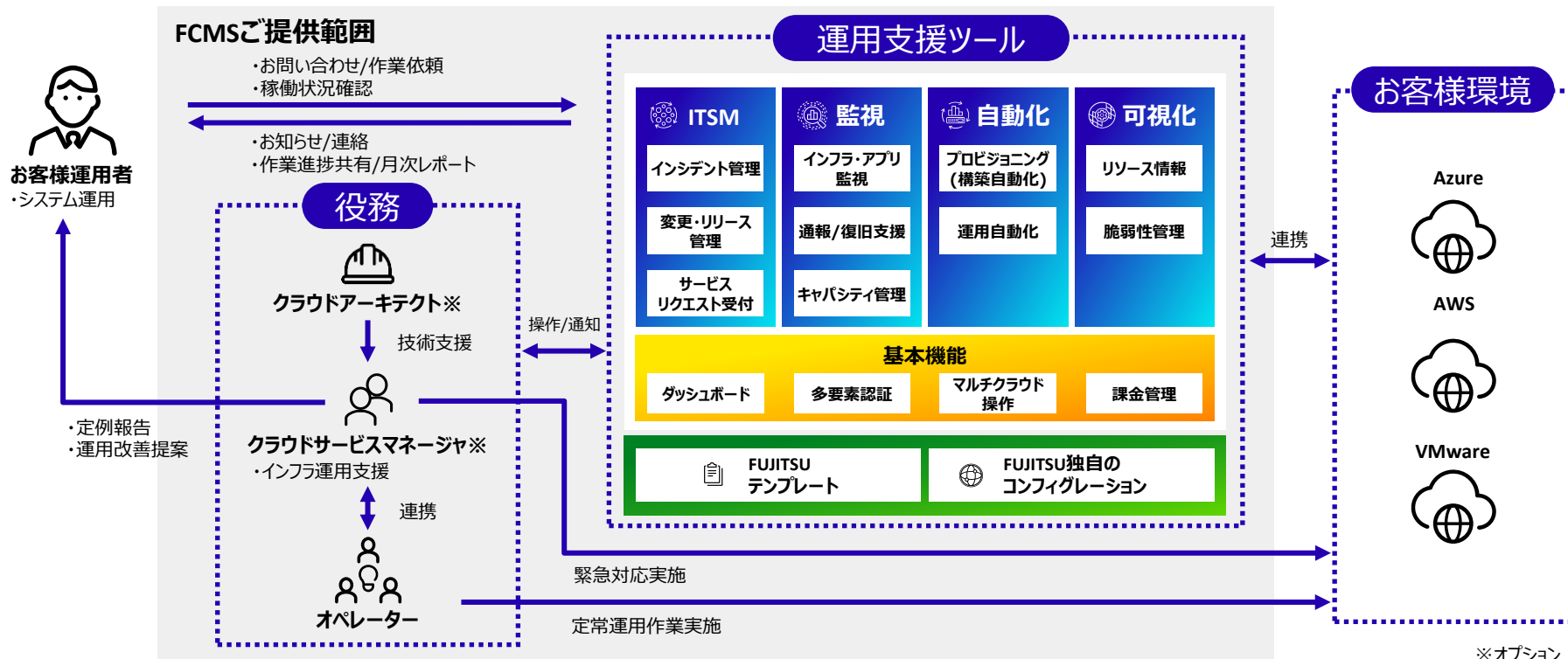
Fujitsu Cloud Managed Service

マルチクラウド運用サービス

国内外での豊富なIT運用の実践知を持つ富士通がグローバルスタンダードに基づくツール群を提供し、運用の最適化を支援します。お客様は、ビジネスの状況変化やシステム要件に合わせて柔軟に機能を選択可能となります。

Fujitsu Cloud Managed Service概要

- お客様の様々な環境に応じて最適な機能や情報を提供し、システム全体の運用を支援します。



留意事項

- 本サービスのご利用にあたり以下の対象製品毎にサポート契約を推奨します。
サポート契約が無い場合、対象製品の問題解決ができない場合がございますのでご注意ください。

対象製品	サポート製品
FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O	<u>ヘルプデスクサービス</u> *1
FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-V	<u>エンタープライズサポート</u> *1
AWS (Amazon Web Services)	<u>FUJITSU Hybrid IT Service for AWS</u> *2 *3
Microsoft Azure *4	<u>FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure ヘルプデスク</u> *1
Google Cloud *5	<u>Google Cloud カスタマーケア</u> *1
Oracle Cloud Infrastructure	<u>Oracle Support</u> *1
オペレーティングシステム・ハードウェア・ミドルウェア *8	<u>Pay-as-you-go Software</u> *6 <u>富士通SupportDesk</u> *7

- *1 お客様のワークロードに応じたサポートプランをご選択ください。詳細については、各製品サイトをご参照ください。
- *2 AWSクラウドに技術サポートを含めた製品になっております。弊社製品をご利用いただくことで弊社サポートエンジニア間で連携し効果的に問題解決を行うことができます。
また、弊社はAWS エンタープライズサポートを契約しておりますので、AWS自体の問題に関しても対応可能です。
- *3 FUJITSU Hybrid IT Service for AWS 以外のAWSクラウドをご利用の場合でも Fujitsu Cloud Managed Service および Fujitsu Cloud Transformation Service のご利用は可能です。
その場合、AWS エンタープライズサポート(又は AWSビジネスサポート)のご契約が必要です。
AWSビジネスサポート未満のサポートプランでは万が一の対応が取れずプロダクション環境(本番環境)には適しません。
AWSサポートのプランの違いについては、AWS社のページをご参照ください。
- *4 FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 以外の Microsoft Azure をご利用の場合でも Fujitsu Cloud Managed Service および Fujitsu Cloud Transformation Service のご利用は可能です。
- *5 FUJITSU Hybrid IT Service for Google Cloud 以外の Google Cloud をご利用の場合でも Fujitsu Cloud Transformation Service のご利用は可能です。
- *6 弊社製ソフトウェアをクラウドサービス (IaaS) にインストールして、従量制料金でご利用いただけるライセンスとサポート込みの製品です。
- *7 一部を除きサポートのみのサービスです。詳細は弊社窓口にお問い合わせください。
- *8 弊社販売以外の製品(サービス)についても、問題解決のためお客様にてサポート契約の締結をお願い致します。

Thank you

